

社会・環境報告書 2011

レシップホールディングス株式会社



あ、ここにも。

LECIP 



LECIP

社会・環境報告書

CONTENTS

- 01 会社概要
- 02 事業概要
- 03 ごあいさつ

特集

- 05 お客様のため、
社会・環境のために

社会報告

- 07 お客様との関わり
- 08 Close-up 01
- 09 取引先との関わり
- 10 Close-up 02
- 11 従業員との関わり
- 12 Close-up 03
- 13 株主・投資家の皆様との関わり
地域社会との関わり

環境報告

- 14 基本方針・環境推進体制・
環境教育
- 15 環境活動フロー
- 16 2010年度の活動の総括・
環境会計

マネジメント

- 17 コーポレート・ガバナンス
- 18 有識者のご意見

編集方針

持続可能な社会の実現を目指すレシップの取り組みを、具体的かつ、わかりやすくまとめるよう心がけるとともに、担当社員の活動や声を紹介することにより、できるだけありのままのレシップの姿を紹介できるよう工夫しました。

報告対象組織

レシップホールディングス株式会社
レシップ株式会社
レシップ電子株式会社
レシップインターナショナル株式会社

報告対象期間

2010年4月1日から
2011年3月31日まで
(一部それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。)

発行時期

2011年8月
(次回:2012年8月予定 前回:2010年6月)

参考にしたガイドライン

環境報告ガイドライン(2007年版)
環境省 環境会計ガイドライン(2005年版)

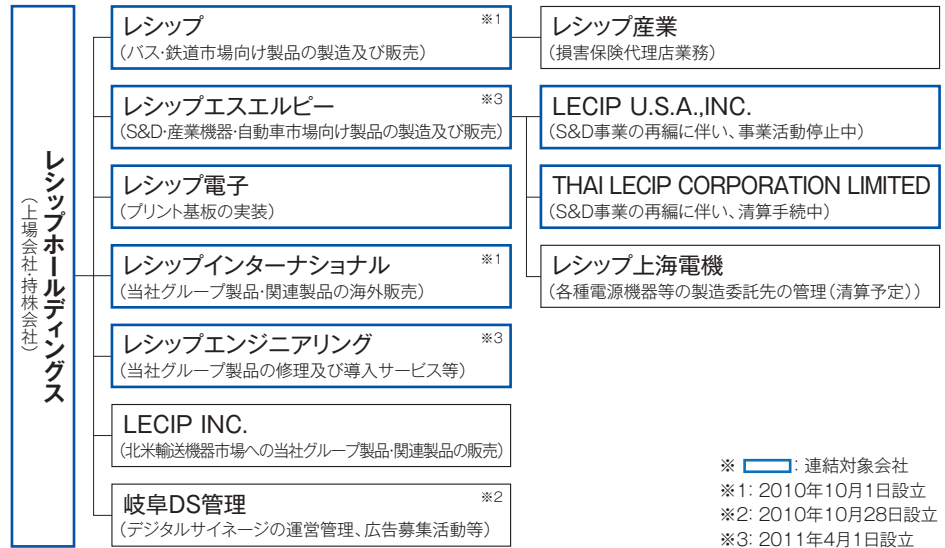
会社概要 (2011年3月31日現在)

商号 レシップホールディングス株式会社
所在地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
設立 1953年3月

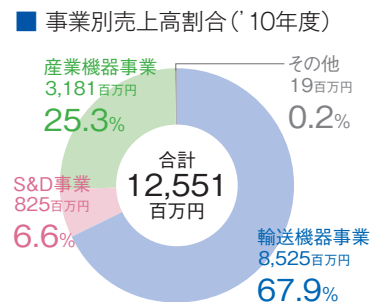
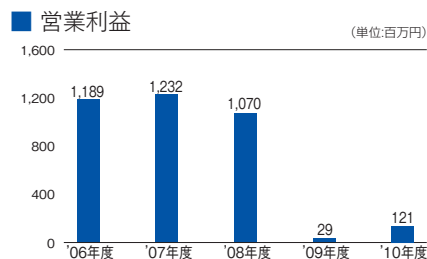
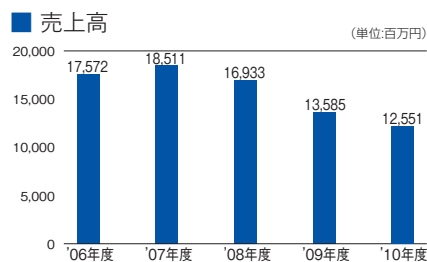
※2010年10月、会社分割による持株会社体制への移行に伴い、旧レシップ株式会社は、レシップホールディングス株式会社に商号を変更しました。

資本金 7億3,564万円
従業員 連結 453名
上場取引所 東京証券取引所市場第二部、名古屋証券取引所市場第二部

レシップグループの体制 (2011年4月1日現在)



業績ハイライト (連結)



事業概要

輸送機器事業

路線バスや鉄道向けのワンマンシステム機器をトータルに提供し、日本国内では高いシェアをいただいています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される照明機器の製造・販売を行っています。



ICカード対応運賃箱



ICカードリーダー



降車信号装置(押しボタン)



LED式行先表示器



トラック用LED灯具



新幹線室内用照明灯具

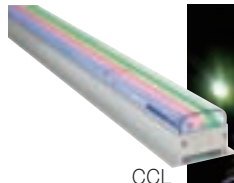
S&D事業

(サイン&ディスプレイ)

LED電源をはじめとする各種電源機器の製造・販売のほか、LED照明灯具や建築照明システム(CCL)等の新製品開発も進めています。



LED灯使用



CCL



蛍光灯型LED灯



CCL使用事例



電子式ネオン変圧器



LED電源



蛍光灯電子安定器

産業機器事業

各種無停電電源装置や、バッテリー式フォークリフト用充電器の製造・販売のほか、EMS事業(プリント基板の実装)も対応しています。



プリント基板



フォークリフト用充電器

新しい未来を明確にイメージして、社会的要請に応える



代表取締役社長

杉 本 真

ごあいさつ

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に津波による壊滅的な被害を受けるとともに、多くの尊い命が失われました。被災された方々、及びそのご家族の方には心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の皆様のご健康と被災地の一日も早い復旧を祈念いたします。

非常時の使用を見据え、 社会インフラとしての公共交通を再整備

今回の地震による大きな揺れと津波は、被災した地域に住む人々の命と生活を一瞬にして奪い去っていきました。また首都圏を中心に、地震発生時における情報や交通網の大混乱は、現代社会の脆弱さを露呈しておりました。そのようななか、バスによる人員・物資の輸送や情報の伝達が首都圏における交通網の正常化や被災地の支援に大きく貢献したことは、さまざまなメディアを通じ日本中に伝えられております。

経営理念

「省エネルギー」
「地球環境対応」
「セキュリティ強化」を通じて、
快適な日常を実現するための
製品・サービスを
社会に提供します。

新製品・サービスの開発を進めます。

加えて、バス停に設置されたソーラー式の照明灯具が停電により真っ暗となった道路を明るく照らし街行く人々に安心をもたらすなど、バス施設が非常時において半公共インフラとして十分に機能を果たしたことが、先日、被災地のバス事業者様により発表されました。こうした実績を踏まえ、今後、バス事業は単なる人員の輸送手段としてではなく、非常時での使用も見据えた社会インフラとして各地で再整備されていくと考えます。バスに係る電装機器の製造やシステム開発に携る私たちレシップグループとしても、そうした社会的要請に応える新たな製品の開発及び市場展開をさらに進めていかなければなりません。

節電対策を通じた製品開発の強化

今回の大震災は、多方面でこれまでの人々の考え方や行動様式を一変させる出来事となりましたが、その中でも最大の社会的変化は電力不足による節電対策ではないかと思われます。現在、日本各地でさまざまな節電対策が行われておりますが、当社グループで

は岐阜・本社工場の照明灯具の台数見直しとあわせ、蛍光灯から自社製LED灯への全面切り替えを進めているところであります。その他にも、冷暖房機器の設定温度の管理徹底や工場レイアウトの見直しなどにより電力使用量を15%以上削減する目標を立てております。こうした取り組みは、電力料金の削減に繋がるだけではなく、その試行錯誤によって蓄積されたノウハウがサインや照明に関する製品開発力の強化に繋がると考えております。

繰り返し申し上げますように、今、日本は大きな変革期を迎えております。この変革期においては、時代の潮流とその先にある新しい未来を明確にイメージするとともに、それに合わせて自らを柔軟に変えていくことができる企業のみが生存を許されます。今回発行する社会・環境報告書にはこの一年間の当社の変化（＝取り組み）をすべて記載しております。是非ご一読いただき、忌憚のないご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

中期経営計画

CE2012 CE=「快適な日常（Comfortable Everyday）の実現」

重点課題	新商品開拓への力強い熱意
	5つの総ての市場での海外展開
	コスト競争力の強化



特集 お客様のため、社会・環境のために

バス機器業界初の
エコリーフ環境ラベルを
取得しました。



登録マークと活用
エコリーフ環境ラベルには製品登録番号が付与され公開されます。エコリーフのURLと製品登録番号から、誰でもエコリーフ環境ラベルの情報を入手することができます。

情報の詳細はこちらをご覧ください。
http://www.jemai.or.jp/ecoleaf/prodbycmp_companyobj150.cfm

バス機器にも求められる環境への取り組み

レシップグループは、バス用運賃箱、整理券発行者、運賃表示器、LED式行先表示器、音声合成装置(車内自動放送装置)などバスの運行に必要なあらゆる電装機器を取り扱う国内唯一のバス用電装機器トータルサプライヤーです。



レシップ株式会社 バス営業部
鈴木 克巳さん

公共の足として全国各地の路線網を走る路線バスは、大型車両だけに、CO₂排出量削減に向けた配慮とともに、廃車時の環境負荷低減が待たなしとなっています。

バス用LED式室内灯がエコリーフ環境ラベルを取得

そして、このほどバス用LED式室内灯(型式番号SL-A80-LED1)のエコリーフ環境ラベルを取得しました。エコリーフ環境ラベルの登録は、算定ルールの制定活動とCO₂などの環境負荷算定活動の2つからなっており、ルール制定時やそのルールに基づいた算定時には第三者の認定や検証が求められます。

CO₂見える化でLED灯と蛍光灯を比較すると

算定ルールの制定により、エコリーフ環境ラベルを取得したバス用LED式室内灯とこれまで使用してきたバス用蛍光灯のライフサイクルにおけるCO₂排出量を比較すると、LED灯が679.09kg(エコリーフデータ)、蛍光灯が1,349.82kg(社内試算データ)となりました。

バス用LED式室内灯は、従来の蛍光灯と同等の明るさで、かつ消費電力およびCO₂排出量で約50%*の削減が可能となったのです。

*製品使用条件は、30,000時間(10年使用、300日/年、10時間/日)として計算。

安全に快適にご利用いただくために

従来の路線バス用照明の保安基準は、蛍光灯や電球を想定して消費電力(W数)で明るさを規定しており、LEDでは同等の明るさでも消費電力が少ないため、基準をクリアできないという課題がありました。

そこでバス車体メーカー各社様と協力し、関係業界を通じて、従来品と同等の性能確保を目的とする測定の基準づくりを進めるとともに、保安基準の早期改正を働きかけてまいりました。このたび保安基準*が改正され、バスの室内照明灯、車外照射灯もLED製品が使用できることとなりました。環境面での効果だけではなく、バス車内を安全に快適に照らす照明として製品開発を進め、LED式室内灯の普及を促進していきます。



※2011年6月23日付け道路運送車両の保安基準の細目を定める告示(平成14年国土交通省告知第619号)

エコリーフ環境ラベルとは

エコリーフとは、製品の製造・使用・廃棄といったライフサイクルのすべての段階で環境負荷を定量的に明らかにしていく取り組みです。地球温暖化対策の1つとして開発され、2002年4月から本格運用が始まりました。

エコリーフ環境ラベルは、そうした取り組みの中から生まれた日本生まれの環境ラベルです。

特徴は、製品の一生から発生する環境負荷情報を把握できる点にあります。エコリーフ環境ラベルが付与された製品は、〈資源採取→製造・組立→物流→使用→廃棄・リサイクル〉という製品のライフサイクルにわたる環境情報がオープンになります。これをライフサイクルアセスメント(LCA)と呼び、そこから発生する定量的な環境負荷を数値として表したのがエコリーフ環境ラベルなのです。

社会報告

社会活動に関する考え方

社会の持続的な成長に貢献し、かつ社会からの要請を認識して、レシップグループが社会的責任を果たしていくため、ステークホルダーとのコミュニケーションを図るとともに、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。



お客様との関わり

LECIP with customers

「顧客第一」として、お客様の信頼と満足を得るため、市場把握・開発・設計・生産・販売に至る各プロセスにおいて品質を追求し、品質保証体制の充実・強化に努めています。

公共交通機関の言語バリアフリー

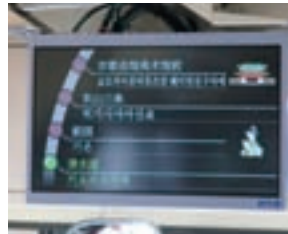
各観光地においては、外国人観光客が言語面での不便・障害を感じずに移動できるように言語バリアフリー化を促進しています。交通の拠点である駅やバスターミナルに日本語、英語、中国語、韓国語など多言語で目的地までの移動を案内するほか、鉄道やバス車内でも、多言語による案内などによりスムーズな移

動環境を確保するなど、情報提供の整備を進めています。

レシップでは、今後さらに、近隣住民向けの災害情報などの緊急性の高い情報や、地域ならではの最新情報の提供なども含めた、公共交通機関の“情報バリアフリー”に向けたインフラづくりにも貢献します。



バスターミナルの路線案内表示器



路線バス車内の案内表示器

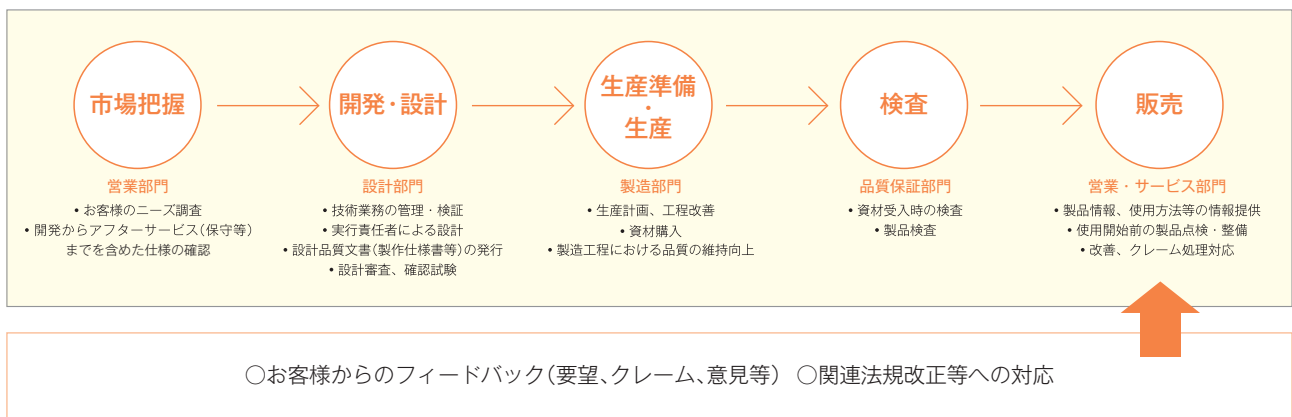


タッチパネル式券売機



バス停留所の案内表示器

製品・サービスの品質向上フロー



Close-up 01

LED灯への切り替えで、節電効果を促進

節電対策

2011年夏の節電対策として、省エネ効果に優れた蛍光灯型LED灯を本社事業場(岐阜県本巣市)にて導入を進めています。天井照明の約4,000本の蛍光灯を約20%間引いて、順次LED灯へ切り替えます。これにより、政府が掲げている前年電力使用量比15%削減のうち、約4%の電力を削減できる計画です。



また、環境省所管のチャレンジ25キャンペーンに参加し、グループ会社でクールビズを実施するとともに、エアコンの温度設定(28℃)の徹底、空調機のデマンドコントロールの導入、OA機器の統廃合などの対策を実施・検討しています。



蛍光灯型LED灯

レシップグループ製電源を使用しており、高効率で安定した点灯で、ちらつきや明るさのばらつきがなく、オフィスでの使用にも適しています。



新幹線やトラックの室内照明にもLED

環境への配慮とあわせてデザイン性・快適性も重視した車載(鉄道・トラックなど)の室内環境づくりに、LED照明をご採用いただきました。



JR東日本様東北新幹線「はやぶさ」
グランクラス車内用LED照明



日野自動車様「デュトロ」運転席用LED照明



取引先との関わり

LECIP with suppliers

取引先の皆様とは相互理解を深め、関係法令の遵守、公正な取引関係のもと、必要な資材等を適切な品質・価格・納期で調達できるよう、ご協力をいただきながら取り組みを進めています。

調達の基本方針

私たちレシップは、地球環境にやさしい、クリーンで安全な製品をお客様に提供するために「グリーン調達」を推進しています。

● グリーン調達宣言

1. 調達部品・原材料の特定化学物質非含有化

カドミウム、6価クロム、水銀、鉛*、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテルの非含有化を行います。

※ 電子基板のはんだを除外します。

環境負荷物質の管理の徹底を図るため、主な調達先140社に非含有宣言書の再提出を要請し、全社から非含有宣言書を入手しました。

2. 製品のグリーン化

製品のELV/RoHS指令への対応を推進します。

製品のRoHS化については、各市場別に発行した「レシップ環境ニュース」に記載した製品から順次対応を進めています。

OBC-VISION、デジタル運賃表示器、LED表示器についてRoHS化を完了しました。自動車・バス・鉄道向け灯具については、新規設計品よりすべてRoHS対応しています。

ELV：使用済み自動車に関するEU（欧州連合）指令

RoHS：電気電子機器に含まれる特定有害物質使用制限に関するEU指令

グリーン調達ガイドライン

グリーン調達ガイドラインを作成し、当社製品に使用される資材について、環境負荷物質情報の報告、「エビデンス」の提出、「使用禁止環境負荷物質の非使用宣言書」の提出、「環境品質保証体制」の整備を取引先に要請しています。



http://www.lecip.co.jp/environment/pdf/lecip_green.pdf

海外生産拠点の鉛フリー対応体制支援

拡大するアジア地域へ低コストでのOEM/ODM商品の製造、販売に向けて、海外の委託先と協力して鉛フリーはんだに対応する生産体制を構築しています。



在庫点検

環境負荷物質の混入防止のため、蛍光X線分析装置による調達品の検査を実施しています。

（2010年度の蛍光X線受入検査実績は約8,000件となりました。）

また、検査業務規定を改定し、環境検査の対象および頻度を拡大して、調達品の検査体制を強化しました。



Close-up 02

環境対応型で、さらに安全なまちづくりにも貢献

ソーラー式LED照明「エルソーラ」

太陽光を電源に、そして、LEDを光源にした省エネルギー製品を開発しました。

近くまで電源が届いていないために、照明が必要なが設置ができない場合や、不意の停電時でも点灯可能なので、環境対応製品としてだけでなく、安全・防災の観点からも有効にご利用いただけます。



開発設計者のコメント

人が近づいたときにだけフル点灯し、人がいないときは明るさを抑えるよう、人感センサーをつけて調光制御による省エネ効果を高めました。

制御技術は、これまで蓄積された技術で対応可能でしたが、従来製品とは部材が違うため、一つ一つの部品選定、入手に苦労しました。当初バス停用として開発を進めており、簡単に取り付けができる一方で、人がぶつかってもけがをしないように、また悪戯防止のために頑丈な設計とするなど、安全面にも配慮しました。さらに、LEDの光を効果的に照射できるよう、何度も試験を繰り返して反射板の構造に工夫をこらしました。

お陰様で、停電の際には、ソーラー式LED照明が点灯して役に立ったという話を伺い、多少なりとも貢献できて良かったと思います。

今後は、さらにお客様にお求めいただきやすいよう、取り付け可能場所や用途の拡大を図っていきます。



レシップエスエルピー株式会社(前レシップ株式会社)
(右から) 塩谷 稔明さん、原 亮平さん、所 洋子さん

宮城県内のバス停用に提供しました。

株式会社ミヤコーバス様にソーラー式LED照明を提供し、震災後、なお停電が続いている地域の多い気仙沼・志津川地区のお客様に安心してバスをご利用いただけるよう、10ヶ所のバス停に設置していただきました。(2011年6月現在)



従業員との関わり

LECIP with employees

従業員一人ひとりが、いきいきと健康で仕事ができる職場環境の実現とともに、多様な人材が各々の能力を最大限に発揮できる企業風土づくりを目指します。

多様な人材の雇用

当社グループの新規分野をはじめとするさまざまな事業展開を「適材適所」で支えるため、多様な人材確保は、優先課題と位置づけています。



そこで、他社経験者、女性などの採用を意識的に拡大し、多様な人材採用を積極的に進めています。

人材育成

若手・中堅社員を中心に、さらに専門性を高めるため、外部との連携による技術教育や、中堅社員を対象としたマネジメント研修など、多面的な教育・研修を実施しています。



ワークライフバランスの推進

出産、育児および看護や介護のための休暇・休業制度等の充実を図り、社員の多様な働き方を支援しています。

- 育児休業 ●所定就業時間中の育児時間
- 子（小学校就学前）の看護休暇 ●介護休暇
- 在宅勤務制度 等

2010年度の育児休業取得者は8名、その他、有給休暇の計画的取得、ノー残業デーの設定、フレックスタイム制度の導入などに取り組んでいます。

安全と健康への取り組み

労働安全衛生法をはじめとする各種法令や就業規則に基づき、「従業員の健康保持・増進」と「労働災害の防止・再発防止」の実現を図るため、すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりを推進しています。

TOPICS

発明くふう展

2010年岐阜県発明くふう展の審査において岐阜県繊維協会会長賞を受賞しました。

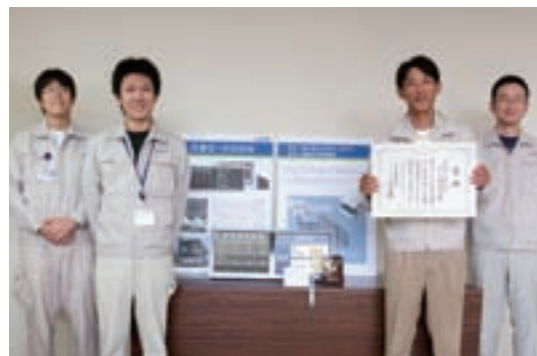
●受賞者

レシップ株式会社

野村典生さん、立川貴仁さん、細川祥道さん、小川健治さん

●受賞製品

OBC-VISION "D" 音声放送機能付き運賃表示装置



●受賞コメント

今回の受賞製品は、路線バス車内の音声放送と運賃表示画面を連動させて、次の停留所情報などを正確にタイミングよく、乗客の皆様にご案内できるものです。

これからも路線バスの乗客向けに、役立つ情報を提供できる機器の開発・提案を進めていきます。

Close-up 03

社内託児所（わくわくひろば）を運営

仕事と育児の両立支援

「会社の成長のためには、『優秀な人材の確保』が必要」との考えから、特に女性社員の確保・定着、能力開発支援は、重要課題と捉えています。

当社では、かねてより仕事と育児の両立支援策として、在宅勤務制度などを導入していましたが、さらに働きやすい職場環境の整備を図るため、2009年4月、社内託児所を開設しました。

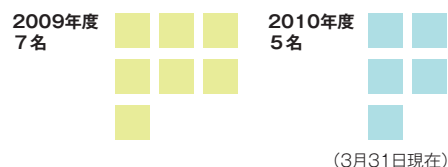


技術や経験を蓄積した女性社員が、出産や育児を理由で退職することなく、かつ育児中も能力を発揮しながらキャリアアップしていけるように支援していきます。

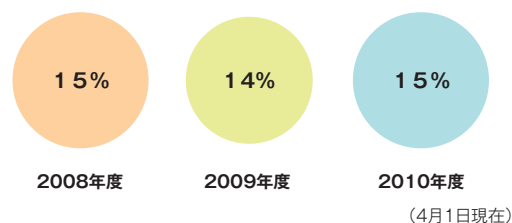
●社内託児所の概要

名称	わくわくひろば
建設地	本社事業場内（岐阜県本巣市）
規模	延べ床面積 約165㎡
定員	10名
保育児対象年齢	生後6ヶ月から2歳児の年度末まで
運営委託先	ビジョンハーツ株式会社

●利用者数



●女性従業員数の割合（正社員）



利用者のコメント

レシップ株式会社 岡田裕美さん

託児所が開設されたおかげで、出産後も仕事に復帰しやすくなり、仕事と育児の両立ができるようになりました。急な発熱など子どもの体調が悪くなった時でも、すぐに駆けつけ子どもを安心させることができます。保育士の方々もこまめに水分補給、着替え、検温等、子どもの体調管理を行ってくださるため、安心して子どもを預けられています。

一方、子どもは、集団生活を通して、他のお友達との関わり方、日常生活に必要な知識を学んでいます。託児所に子どもを預けること

で、保育士の方々、今まで接点のなかった社員の方とも知り合うことができ、育児に関する情報交換や悩み相談をすることができ、助かっています。

仕事と育児の両立は大変ですが、周りの方々のご協力をいただきながら子どもとともに私自身も日々成長できればと思います。



運営担当者からのコメント

ビジョンハーツ株式会社 粥川朝美さん

私たちは、『子育て』『子育ち』を楽しく豊かにし、その感動を多くの人に知っていただくために、『愛』をサービスというカタチにしてお届けしています。

ひとりでがんばるのは大変な子育てだから。子どもたちの、家族の、地域の、職場の、さまざま

まなハートとハートをつないで、子育てをサポートしていきたいと考えています。



株主・投資家の皆様との関わり

LECIP with shareholders and investors

企業価値の向上および収益の適正な還元により、株主・投資家の皆様からの信頼と期待に応えることを目指しています。

情報開示の推進

株主・投資家の皆様に、当社の財務内容や事業活動状況等の経営情報を的確に開示することで、より透明性の高い企業を目指しています。

投資家とのコミュニケーション

個人株主の拡大を目的として、IRイベントへの出展や、証券会社等主催の個人投資家向けセミナーへの参加など、個人投資家との対話を推進しています。



株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を重要な課題の一つとして位置づけており、財務体質の強化にも意を用いながら、継続的、かつ安定的な利益還元を努めることを基本方針としています。



地域社会との関わり

LECIP with communities

地域社会の一員として、各種の環境保全活動や交流活動を実施するほか、人材育成を目的とした、学生のインターンシップ受け入れなどを積極的に推進しています。

就業体験

学生・生徒に「ものづくりの現場」に触れてもらい、就業感や就業意識の醸成の一助としていただくことを目的として、本社近隣の学校および東海地域を中心とした各大学との連携によりインターンシップ（就業体験、実務訓練）を実施しています。



公共交通利用促進イベントへの協力

全国各地のご要望にお応えして、公共交通利用促進イベントに出展協力しています。

路線バスの便利な製品を展示するほか、ICカード導入前の地域では、ICカードでの精算を体験できるコーナーを設置し、路線バスの利用をより身近に感じていただけるようPRに努めました。



環境報告

環境方針

■基本方針

私たちレシップは、社会の一員として21世紀にふさわしい循環型社会を創りあげていくために、地球環境に適合した魅力溢れる製品とサービスを生み出していくとともに、地域・社会との共生を図りながら、継続して環境保全に努めていきます。

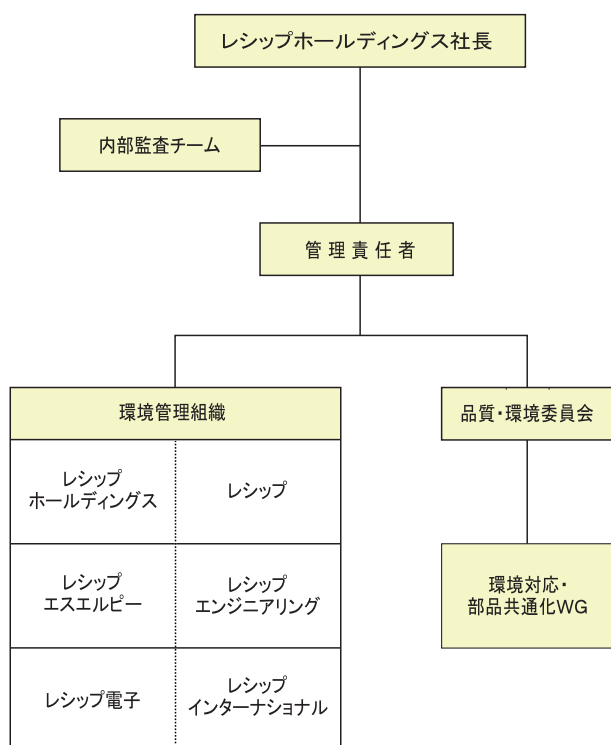


行動方針

- 1) 環境に関わる法令・規則を順守し、具体的な環境目的・目標を設定し、実行してレビューすることを通じ、環境改善と汚染予防に継続的に取り組みます。
- 2) 社員全員が会社の環境に対する活動理念を共有し、一人ひとりが自らの日常業務と環境との関係を深く理解して行動に結び付けられるよう、周知・啓発を行います。
- 3) 環境保全に関わる地域住民や取引先の活動に対して協力・連携していくとともに、当社の環境への取り組みを積極的に公開します。

環境推進体制

管理責任者を委員長とする品質・環境委員会を年6回開催し、品質・環境面における維持管理と、問題解決の推進を図っています。



(2011年4月1日現在)

重点課題

次の項目について優先的な取り組みを推進します。

- 1) 製品の省エネルギー・省資源化
- 2) 規制化学物質の削減と対応製品の開発・提供
- 3) グリーン調達
- 4) 事業活動から出る廃棄物、排出物の削減と再利用
- 5) 生産設備や施設の省エネルギー化とCO₂の低減

環境教育

①環境指導会

2009年度より、年3回杉山取締役（富士常葉大学社会環境学部教授）による環境指導会を開催し、当社の環境活動の報告・指導や、CO₂排出量の削減・環境規制動向等について講演いただいております。また、エコリーフ環境ラベルの取得に向け、具体的なアドバイスをいただき、バス用LED式室内灯のエコリーフ環境ラベルを取得いたしました。

②LCA、エコリーフ教育

低CO₂製品の開発の基礎教育として、設計・開発担当者を対象にLCA算出手順やエコリーフについて教育を行っています。

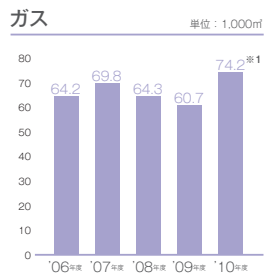
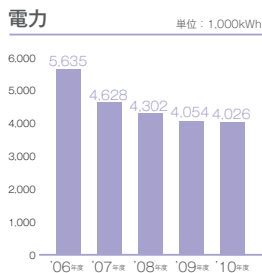
③鉛フリーはんだ教育

現時点では、共晶はんだと鉛フリーはんだの2種類が併存しています。製造担当者を中心に、鉛フリーはんだの特性、作業手順、はんだの識別方法などについて、毎年定期的に教育を行っています。

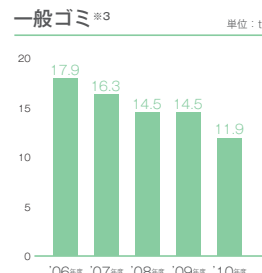
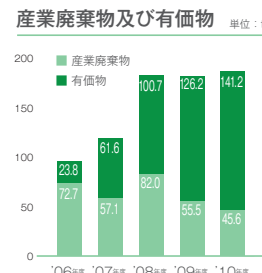
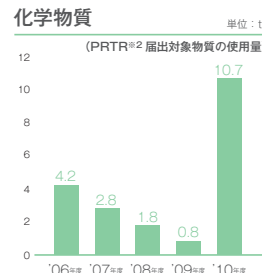
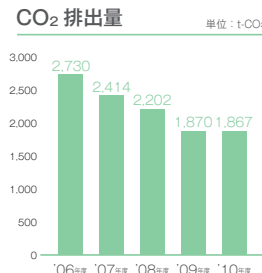


環境活動フロー

INPUT



OUTPUT

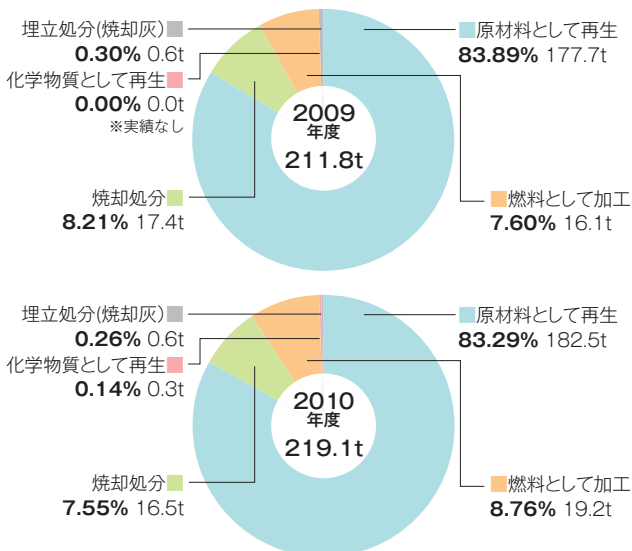


※1 2010年度は、猛暑によりガス式エアコンの稼働率が上がったため、ガス使用量が増加しました。
 ※2 PRTR: 環境汚染物質排出移動登録制度 (Pollutant Release and Transfer Register)
 ※3 一般ゴミには、生ゴミ・木くず・汚れたダンボール等が含まれます。
 ※4 水については、生活用水のみの使用のため、管理対象から除外しています。

ゼロ・エミッション

事業活動を通じて排出される廃棄物については、可能な限り、原材料または燃料用資源としての活用を図り、ゼロ・エミッションを達成しました。
 (総排出量の内、埋立処分される割合が0.5%未満をゼロ・エミッションと定義)

排出処理状況



PRTR届出対象物質の削減

鉛フリーはんだ化を進めたことにより、鉛使用量は前年比22%の削減となりました。

海外で生産していた点火・殺虫器用トランスの国内移管に伴い、充填剤に含まれるスチレン、メチレンピスの使用量が増加しました。

単位:kg

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
フタル酸ビス	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	1,290	—	—	—	—
キシレン	1,230	1,244	—	—	—
鉛	1,700	1,600	1,823	805	627
スチレン	—	—	—	—	8,535
メチレンピス	—	—	—	—	1,504
合計	4,220	2,844	1,823	805	10,666

※「—」は届出対象未満

2010年度の活動の総括

評価基準 X: 目標達成70%未満 △: 目標達成70%~90%未満 ○: 目標達成90%以上

環境方針		2010年度目標	2010年度実績	評価 (今後の予定)	
Eco-Product	規制化学物質の削減	RoHS/ELV対応製品の納入 (環境ニュース対象製品 90%以上対応)	・主要製品については、新規設計からRoHS化している。 (在庫部品の消却、半導体の入手性により除外品あり) ・輸送機器製品の基板のRoHS化率は約80%となった。	△	
		基板の鉛フリーはんだ化 ・片面紙基板の鉛フリー化・ローコスト鉛フリーはんだの評価	・片面紙基板、ローコスト鉛フリーはんだの実用化を開始した。	△	
	低CO ₂ 製品の提供	製造段階 小型・軽量化により、定置式充電器のCO ₂ 排出量を15%以上削減する。	・軽量化トランスの試作を進めた。	X	
		小型・軽量化により、硬貨コンテナのCO ₂ 排出量を15%以上削減する。	・CO ₂ 排出量を約8%削減した。		
		使用段階	LED化により、バス用照明機器のCO ₂ 排出量を20%以上削減する。	・バス用室内灯(SL-A80-LED1)において、従来型蛍光灯に比べてCO ₂ 排出量を約50%低減した。	○
			CPU見直しにより、OBC-VISIONのCO ₂ 排出量を20%以上削減する。	・CO ₂ 排出量を約24%削減した。	
		エコリーフの原案申請 原案2件を申請する。	・エコリーフのPCR原案2件を申請した。 ・A80LED灯のエコリーフ環境ラベルを登録した。	○	
	Eco-Factory/Office	グリーン生産体制の強化	鉛フリーはんだ生産比率の向上 鉛フリー対応可能率80%以上	・鉛フリーはんだ対応可能率は以下となった。 実装ライン:70%、自動はんだ槽:60%	△
			多層基板のはんだ品質向上パターン設計 マニュアルの発行	・新規設計基板から対策を実施した。 マニュアルの発行には至っていない。	△
			特定品(Assy、製品)の環境受入検査の実施 検査実施率:90%以上(各1回/年)	・検査実施率は約60%、不合格は0件であった。	X <small>日常業務として継続する。</small>
工場・オフィスの低CO ₂ 化		電力・ガス使用量 前年比1%以上削減	・電力:レシップグループで0.6%減少した。 ・ガス:レシップグループで22%増加した。	X <small>15%の節電対策を実施する。</small>	
廃棄物の削減		PRTR物質報告書の提出 1回/年 鉛使用量の低減 前年比10%以上削減	・PRTR物質報告書を提出した。 ・鉛フリーはんだ化により、鉛購入量が22%減少した。	○	
	廃棄物の抑制 埋立率0.5%以下	・レシップグループで対前年比9%削減した。埋立率0.26%	○		
Eco-Management	グリーン調達推進	サプライチェーン管理・支援の強化 ・環境負荷物質管理の支援 4社以上	・ISO認証未取得の調達先3社に対し、環境負荷物質管理の趣旨説明と現状把握を行った。	△	
	環境データベースの構築	材料情報DBへの拡張	・個別の案件毎にデータ収集と登録を継続した。	X <small>案件毎対応とする。</small>	
	環境コミュニケーション	社会・環境報告書への拡張、年1回発行	・社会・環境報告書2010を発行した。	○	

※ローコスト鉛フリーはんだの導入による規制化学物質の削減や、低CO₂製品の開発、工場・オフィスの低CO₂化を2011年度目標に掲げ、活動を継続しております。

環境会計

環境コスト

単位:千円

分類	主な内容	2008年度	2009年度	2010年度	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	水質、土壌の検査費用など	3,081	2,701	1,861
	地球温暖化防止コスト	エネルギー消費の効率化費用など	462	4,089	163
	資源循環	リサイクル処理費用など	3,921	3,372	3,035
上・下流コスト	通い箱の購入費用など	1,153	2	0	
管理活動コスト	環境報告書の作成、ISO審査費用など	4,763	5,615	5,761	
社会活動コスト	清掃活動に係る費用など	0	0	5	
合計		13,381	15,779	10,826	

経済効果

単位:千円

項目	主な内容	2008年度	2009年度	2010年度
省エネルギーによる費用削減効果	電気料金などエネルギー消費コスト	82,059	70,072	69,987
リサイクル収入	鉄・鉛屑など売却代	2,500	4,648	13,364

※2008年度より環境会計を導入。※2009年度より「設備投資に係る環境差額コスト」を項目に追加。(表中は、地球温暖化防止コストに含まれます。)
※2010年度のリサイクル収入の増加要因は、比較的取引価格が高価な、鉛フリーはんだ屑の割合が増加したことによります。

マネジメント

Management

企業市民として公正かつ透明性の高い経営を推進するため、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、継続的なリスクマネジメント、迅速かつ適切な情報開示に努めています。

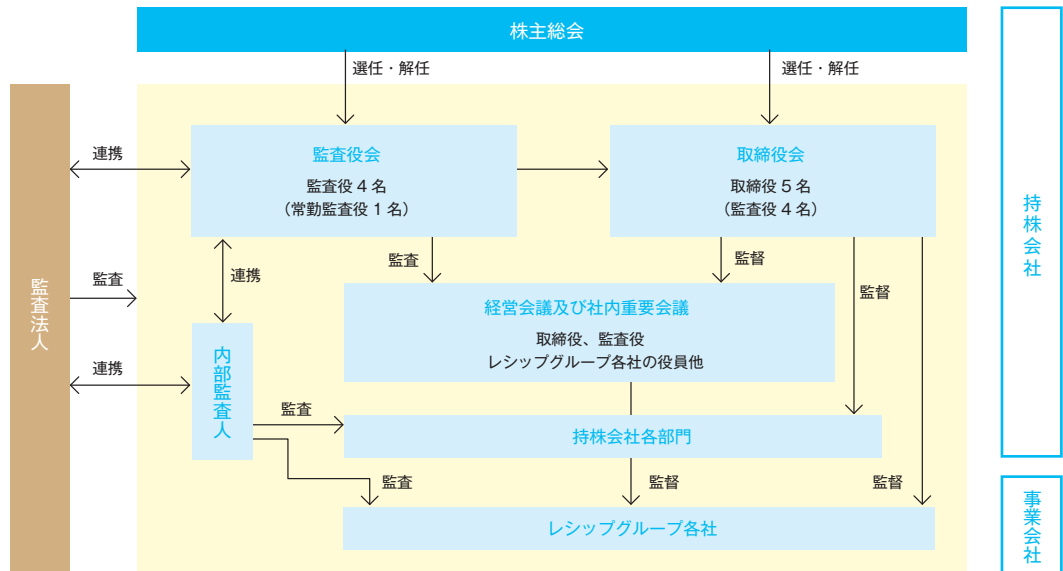
コーポレート・ガバナンス

当社は、社会・経済環境に対応した迅速な経営意思の決定と、透明性の確保・経営の健全性の向上の両立

コーポレート・ガバナンスを充実させることが肝要であると考えています。

を図ることによって、企業価値を高めることが経営上のもっとも重要な課題であると認識しています。

特に、内部統制システムを確立のうえコンプライアンスの重要性を認識した、



コンプライアンス

コンプライアンスに関する規定を制定し、当社の法令遵守の姿勢と仕組み、従業員の心構えを明確にしています。また、法令遵守推進のため、各部門において、遵守すべき関係法令・当該規定・コンプライアンスコードの内容などの周知徹底を図っています。

リスクマネジメント

当社は、対外的な情報収集及び社内的な情報の共有化を心がけています。

大規模労災・震災に対するリスク管理については、危機管理マニュアルを整備し、組織的体制を整備のうえ、被害の最小化を図っています。

内部統制

会社法に基づき、業務の執行が適正に行われることを確保するために「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定し、レシップグループ全体の内部統制システムの整備充実を図ります。

情報セキュリティ

レシップ株式会社の一部の事業において、情報セキュリティの国際規格であるISO27001を2011年1月31日に認証取得しました。

また、「情報セキュリティ基本方針」を制定し、その内容をホームページにて対外的に公表しています。今後も情報資産の適切な維持管理を図ってまいります。

個人情報保護

レシップグループでは、「個人情報保護方針」を制定し、その内容を「個人情報の利用目的」と併せて、ホームページにて対外的に公表しています。今後も個人情報の紛失や漏洩等がないように安全対策を講じてまいります。

有識者のご意見

環境報告について、第三者の視点からご意見をいただきました。



株式会社杉山・栗原環境事務所
代表取締役社長

栗原 和夫氏

震災で明かりの消えた街にソーラー式LED照明が点灯する、このことが被災地の方々にどんなに大きな安心を与えたことでしょうか。東日本大震災以来、非常時の社会貢献の必要性が強く意識されるようになっていきます。非常時にも役立つ社会的インフラの整備という視点から、レシップには大きな役割が期待されます。

バス機器業界で初めてエコリーフ環境ラベルを取得されたことも評価できます。バス用LED照明灯は、従来の蛍光灯と比較してCO₂排出量が約50%削減されること、CO₂の90%以上がバスの使用時に排出されることなどが明らかとなりました。エコリーフ環境ラベル取得のためには、算定ルールの制定、データ収集・評価、第三者検証への対応など、多大なコストや労力がかかったことと思います。得られた知見を研究開発や営業活動に生かし、省エネ製品を普及していくことが持続可能な社会の実現に貢献することになります。

レシップの製品には、社会貢献や環境負荷低減に結びつくような製品がまだまだあると思います。そこ

で提案ですが、社会貢献や環境負荷低減に結びつくような製品の売上げを「目標」として掲げてはいかでしょうか。ソーラー式LED照明が普及することで地域の安心・安全に寄与できますし、バス用LED照明灯が普及することでエネルギー消費量やCO₂の削減ができます。一般に企業の方からは、「社会貢献や環境活動は労力とお金がかかるが、直接的には売上げには結びつかない」という悩みをよく耳にしますが、これらの製品は、「売上アップ=社会貢献・環境負荷低減」という関係になります。このことを含めて、本報告書を営業ツールとして活用するという視点からの検討も必要と考えます。

最後に報告書の構成についてですが、「社会報告」と「環境報告」の内容には切り離せない部分がありますので、「社会報告」、「環境報告」という枠にこだわらない構成を検討してはいかがでしょうか。必要最小限のページ数で、利害関係者に情報的的確に伝わるような報告書に進化していくことを期待します。

● 有識者のご意見を受けて



レシップ株式会社
執行役員品質保証部長
野々村良晴

私たちの製品は、バス・鉄道をはじめとした公共交通機関でご使用いただいています。また、社会インフラを支える各種の電源機器等もご使用いただいていることから、社会貢献や環境負荷低減に貢献できる製品の提供は、我々の責務と考えています。その責務を企業活動に直結した、身近な目標値として上げることは、それを意識した企業活動が積極展開され、より確実な貢献が可能になると考えます。同時にその活動をありのまま当該報告書で報告することにより、社会や環境の枠が消えた報告書になることを確信し、ご提案いただいた活動を進めたいと考えます。



富有柿(ふゆうがき)について

「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿の代表種です。

岐阜県が発祥の地と言われ、本巣市（本社所在地）の特産品です。

株主優待制度

優待内容

富有柿1箱(2,000円相当、3年以上長期保有者には2,800円相当)

対象株主

当社株式を100株(1単元)以上保有されている株主様(基準日：毎年9月末日)

贈呈時期

柿の旬の時期(毎年11月下旬頃)に、順次発送を予定。

レシップホールディングス株式会社

www.lecip.co.jp/hd/

本社事業場

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260-2

TEL: 058-324-3121

人事総務部広報担当

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260-2

TEL: 058-324-3121

FAX: 058-323-2597

